

議事要旨(3) IASB 公開草案「保険契約」へのコメント対応及び FASB 公開草案「保険契約」の概要

冒頭、新井副委員長（専門委員長）より保険契約専門委員会の検討状況の概要について説明があった後、丸岡専門研究員より IASB 公開草案「保険契約」へのコメントに関する検討状況及び FASB 公開草案「保険契約」の概要について説明資料[審議事項(3)]に基づき説明がなされた。

説明に対する委員からの主な発言と、それらに対する事務局の回答が次のとおりである。

- ある委員より、次のような発言がなされた。
 - ・ FASB と IASB の公開草案に関して、IASB の方が理論的に優れていると思うが、IASB の改訂 ED の内容についても改善が必要な個所があるほか、記載内容が不明瞭な部分がある。
 - ・ 契約上のサービス・マージンの認識パターンに関して、現時点では事務局案を評価することは難しいが、定額法をメインに据えることについては、終身保険を想定すると賛同しづらい。
 - ・ 損益計算書のトップラインについては、現行の受取保険料のほうが実感にかなうのでよいと考えており、測定上は分離されていない投資要素の除外については合理性に乏しいと考えている。
 - ・ 割引率の変動に伴う保険負債の変動を OCI に表示する方向性は支持するが、事務局案では改訂 ED の内容より OCI に表示できる範囲を狭めたものであるので、賛同しづらい。

これに対して事務局からは、次のようなコメントを行った。

- ・ 契約上のサービス・マージンの認識パターンに関して、時の経過以外に適したドライバーを提示することを現在事務局にて検討中である。また、損益計算書のトップラインに関して、現行の受取保険料は、保険料の払い方次第で数値が変わるなど、収益認識と整合するものではないと考えている。
- ・ 割引率の変更による影響額を OCI で表示する点については、会計上のミスマッチが生じる場合もあるとの意見もあるので、その点も踏まえて検討している。

- ある委員より、次のような質問がなされた。
 - ・ 契約上のサービス・マージンの認識パターンにおけるドライバーについて、事務局案は時の経過が前面に出過ぎているので、もう少し書き込む必要があり、他の要素も専門保険委員会の意見を参考にして検討していただきたい。

- ・また、保険契約に関する IASB と FASB のコンバージェンスに向けて、事務局としてどのように考えているか、教えていただきたい。

これに対して事務局からは、次のようなコメントを行った。

- ・契約上のサービス・マージンの認識パターンのドライバーについては、時の経過以外にどのようなものを考慮すべきか、検討中である。
- ・また、IASB 及び FASB へのコメントレターにおいて、コンバージェンスに向けて引き続き取り組んでいただきたい旨を盛り込むことを考えており、IASB と FASB で相違する点については、ASBJ としての立ち位置を固めた上で、対応する予定である。

最後に、新井副委員長より、今後、頂いた意見を事務局で検討した上でコメント文案を検討していく旨の説明がなされた。

以 上